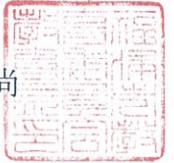


福津市教育懇話会
会長 伊藤 克治 様

福津市教育委員会
教育長 柴 田 幸 尚



福津市コミュニティ・スクール充実・発展に係る
小中連携強化の方策と教育環境整備について（諮問）

学校、家庭、地域が連携・共働して「地域とともにある学校づくり」を推進する本市のコミュニティ・スクールは、「学校を核とした地域づくり」へと発展しようとしています。それぞれの中学校区では、地域と深く関わりながら校区の特性を生かした特色ある教育活動を行っており、中学校区共通の教育目標を掲げ、小中連携の教育に取り組んでいます。しかし、「9年間を見通した一貫性のある教育活動を行う」という目的の共有は図られているものの、様々な課題も抱えています。

小学校と中学校が共に義務教育の一環を形成する学校として、学習指導や生徒指導において相互に協力し、責任を共有して目的を達成するという観点から、双方の教職員が義務教育9年間の全体像を把握し、系統性・連続性に配慮した教育活動を家庭、地域と共に推進することが大切であり、このことは全国的な機運としても高まっています。児童生徒の様々な成長の段差に適切に対応する等の観点から、6-3制の大きな枠組みを維持しつつも、4-3-2制や5-4制などのように学校段階を越えた学年段階の区切りを柔軟に設けて、区切りごとに重点を定めて指導体制を整え、小学校と中学校の接続を円滑化させることにより、教育活動を充実させたいと考えています。

また、本市では、校区によって違いはありますが、児童生徒数が急増している地域があり、その地域では各学校が過大規模校となっている現状があります。この傾向は今後も継続する見込みであることから、中長期的な視点での抜本的な対応が喫緊の課題であり、新設校設置も視野に入れた検討を行っています。

本市の実情に応じて「9年間を見通した一貫性のある教育活動を行う」ための、特色あるコミュニティ・スクールの更なる充実・発展の方策について、貴懇話会のご意見、ご提案を賜りたくここに諮問します。

なお、勝手ながら下記の期限をもって答申をいただきますならば幸いです。

記

答申 令和2年 3月中旬